学校教育目標：　地域とともに夢や目標を実現する力を育てます

六ツ川中だより

発行日：令和５年　６月２０日（火）　NO. ３
発行者：横浜市立六ツ川中学校 https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/mutsukawa/

第 48 回体育祭を終えて

校 長　妹尾 正彦

6月8日（木）、前週までの「雨」という予報を覆し、夏日を思わせる晴天の中、第48回体育祭を実施することができました。3年ぶりに入場制限のない形で実施ができ、多くの保護者そして地域からのご来賓にお越しいただきました。ありがとうございました。

生徒たちは、「BURN UP！　～それぞれの強みを活かして～」のスローガンのもと、この日に向けて昼休みや学活、体育の時間を中心に、各クラスで大縄跳びや学年種目の練習そして作戦会議などに時間を費やしてきました。また、実行委員会は体育祭スローガンの決定から、企画、準備、当日の開閉会式運営に、各競技の道具の準備・片付けまで行いました。専門委員会や部活動も事前準備や前日の会場設営、そして当日の運営にと、様々な場面で活躍をしました。

体育祭当日は、生徒一人ひとりが各競技に全力で取り組み、見ている生徒が全力で応援する、そして結果に関わらず全力で讃え合う素晴らしい姿を数多く見ることができました。特に3年生の団体競技での仲間やクラスへの前向きで熱い声かけと競技終了後の讃え合い、そして体育祭全体を盛り上げようと、下級生にも全力で声かけや応援をする姿はとても感動的でした。

こうした多くの生徒たちの思いと取組が1つになって、今回の体育祭は作り上げられました。ここで、体育祭実行委員長の予行練習での話と閉会式での話をご紹介します。

【予行練習での話（一部抜粋）】

「諦めなければ、わたしたちは必ず成長ができます。大切なのはポジティブな声かけです。クラスでうまくいかないことがあっても、一人ひとりが雰囲気を良くしようとすれば、必ず良くなります。当日もみんなでハッピーになれるように頑張りましょう。」

【体育祭閉会式での話】

「今日は一人一人が燃え上がり、楽しみ、クラスが一つになって競技に取り組むことができましたか？　力を出し切って思い通りの結果が出たクラスも、思うように記録が出なかったクラスもあったと思います。それでも体育祭を迎えるまでに、クラスで行った練習や作戦会議などの過程が、クラスの大切な財産になると思います。3年生はもうこの学校で体育祭をすることはできません。1・2年生はもうこのクラスで体育祭をすることはありません。しかし今日までの取組を通して、知ることができたクラスの団結を、今後の学校生活や橙花祭で活かしていきましょう。私たちは、今日の体育祭の経験を力に、前進します。」

学校行事は、集団で様々な課題を乗り越えて1つのことを成し遂げる経験を通して、仲間と協力することの大切さ、仲間と成し遂げることの素晴らしさを学ぶことができます。これらは普段の学校生活の中だけでは学ぶことが難しく、成し遂げた時の喜びも一人の時とは桁違いに大きいものです。学校行事はそれだけ生徒の成長にとって重要な機会になります。実行委員長の言葉にもあるように、今回の体育祭は多くの生徒にとって素晴らしい成長の機会になりましたが、残った課題、新たに見つかった課題もあるかと思います。それらをまたみんなで今後の学校生活や次の行事等で克服していきます。

教師の働き方改革で、学校行事の精選ということがよく言われますが、六ツ川中学校では生徒の成長に欠かせない学校行事は今後も大切にしていきます。